

令和8年度大学院造形芸術研究科(修士課程)入試 第1回入試説明会資料

- 令和7年7月11日 (金)
- 沖縄県立芸術大学

令和 8 年度造形芸術研究科入試 入試説明会資料 目次

No.	内 容	説明者
1	入試の概要説明・オンライン出願について	山田教授・教務学生課
2	開設科目について (専門関連科目・論文演習)	土屋教授
3	修了要件について	土屋教授
4	長期履修学生制度について	喜多准教授
5	修了後の進路について	長尾准教授
6	学費・奨学金制度等の紹介	教務学生課
7	教職課程について	芳澤教授（動画）
8	博物館学課程について	森教授（動画）
9	質疑応答	各担当
10	各専修による個別相談	各専修大学院運営委員

※「7 教職課程について」及び「8 博物館学課程について」は、後日youtubeにて検索して御覧ください。

＜教職課程＞ <https://youtu.be/au70pMUoEyY> ＜博物館学課程＞ <https://youtu.be/1Y7FNQfPPZA>

1. 入試概要について

募集人員

専攻	専修	募集人員
生活造形専攻	工芸専修 デザイン専修	9
環境造形専攻	絵画専修 彫刻専修	6
比較芸術学専攻	比較芸術学専修	3 (社会人含む)

■ 日程(9月試験：比較芸術学専攻のみ)

- 1 出願期間 令和7年7月28日(月)～8月4日(月)
- 2 試験日程 令和7年9月6日(土) ※9月7日(日)予備日
- 3 合格発表 令和7年9月16日(火) 午前10時
- 4 入学手続 令和7年9月17日(水)～9月24日(水)

※出願資格(9)、(10)、長期履修制度利用予定者はメールにて、障害を有する等の理由により受験上及び修学上の配慮を必要とする者は郵送にて令和7年6月27日(金)までに連絡すること。

※詳細情報は、令和8年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科(修士課程)学生募集要項で確認すること。

■ 日程(2月試験：全専攻)

1 出願期間 令和7年12月8日(月)～12月15日(月)

※比較芸術学専攻については出願書類のうち、卒業論文のみの提出期限は1月8日(木)～14日(水)

2 試験日程 令和8年1月31日(土)～2月1日(日)

3 合格発表 令和8年2月6日(金) 午前10時

4 入学手続 令和8年2月12日(木)～2月18日(水)

※出願資格(9)、(10)、長期履修制度利用予定者はメールにて、障害を有する等の理由により受験上及び修学上の配慮を必要とする者は郵送にて令和7年10月30日(木)までに連絡すること。

※詳細情報は、令和8年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科(修士課程)学生募集要項で確認すること。

■試験科目

専攻／専修			試験内容 (配点)			
生活造形専攻	工芸専修 (1,000点)		作品提出 (300点)	筆答試験 (300点)	実技試験 (200点)	面接 (200点)
	デザイン専修 (1,000点)		作品提出 (300点)	筆答試験 (200点)	実技試験 (300点)	面接 (200点)
環境造形専攻	絵画専修 (1,000点)		作品等提出 (600点)	口述試験 (200点)		面接 (200点)
	彫刻専修 (1,000点)		作品等提出 (500点)	実技試験 (400点)		面接 (100点)
比較芸術学 専攻	比較 芸術学 専修	9月 (遠隔) (600点)	筆答試験Ⅰ (語学) (200点)	筆答試験Ⅱ (専門科目) (200点)		研究計画書(出願時提出) 口述試験 (200点)
		2月 (800点)	卒業論文提出 (事前提出) (400点)	筆答試験 (語学) (200点)		口述試験 (200点)

※出願時に研究計画書を提出すること(全専修)

※詳細情報は、令和8年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科
(修士課程)学生募集要項で確認すること。

■事前相談

専攻／専修			方法	対応期間
生活造形専攻	工芸専修		対面・オンライン	11月28日（金）まで ※平日のみ
	デザイン専修		オンライン	
環境造形専攻	絵画専修		対面・オンライン	
	彫刻専修		対面・オンライン	
比較芸術学 専攻	比較 芸術学 専修	9月	対面・オンライン	7月25日（金）まで ※平日のみ
		2月		11月28日（金）まで ※平日のみ

※事前相談の実施の有無は試験の可否に影響しない。

※事前相談を希望する場合は、メールにて連絡すること。

※詳細情報は、令和8年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科
(修士課程)学生募集要項で確認すること。

大学院研究室担当一覧

生活造形専攻	工芸専修	染研究室	☆ 名護 朝和 宇良 京子	教授 准教授
		織研究室	☆ 花城 美弥子 久保田 寛子	教授 准教授
		陶磁器研究室	☆ 山田 聡 島袋 克史	教授 准教授
		漆工研究室	☆ 當眞 茂 松崎 森平	教授 講師
	デザイン専修	視覚伝達デザイン研究室	☆ 仲本 賢 ☆ 赤嶺 雅 又吉 浩 新任教員	教授 教授 准教授
		生活環境デザイン研究室	☆ 宮里 武志 ☆ 高田 浩樹 赤塚 美穂子	教授 准教授 講師
環境造形専攻	絵画専修	油画研究室	☆ 高崎 賀朗 阪田 清子 新任教員	教授 准教授
		日本画研究室	☆ 喜多 祥泰 関谷 理 新任教員	准教授 准教授
	彫刻専修	彫刻研究室	☆ 砂川 泰彦 ☆ 松本 隆 河原 圭佑 長尾 恵那	教授 教授 准教授 准教授
比較芸術学専攻	比較芸術学専修	美学・芸術学研究室	☆ 喜屋武 盛也 土屋 誠一	教授 教授
		美術史研究室	☆ 下野 玲子 太田 泉 フランス 新任教員	教授 講師
		民族芸術文化学研究室	波平 八郎 鈴木 耕太	教授 准教授

☆は研究指導教員

■ オンライン出願について

受験生のみなさまへ 在校生のみなさまへ 卒業生のみなさまへ 県民・一般のみなさまへ

沖縄県立芸術大学 OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

Google 提供 個人情報保護方針 English

新型コロナウイルス 感染症の関連情報

大学概要 学部・研究科・附属機関等 入試案内 イベント情報 学内外のみなさまへ アクセス

入試関連情報
入試関連ニュース
新型コロナウイルスにかかる入試変更
Zoomの使用方法
障がい等の方への合理的配慮
入学審査料返還手続きについて

美術工芸学部
入試情報
選抜要項
学生募集要項
合格発表
出願状況等
過去問題
奨学金について
その他

音楽学部
入試情報
選抜要項
学生募集要項
合格発表
出願状況等
奨学金について
その他

大学院
入試情報
選抜要項
学生募集要項
合格発表
出願状況等
奨学金について
その他

資料請求
大学案内(大学案内)
その他の資料

オンライン出願
オンライン出願について
オンライン出願の手順
オンライン出願申請

参加無料/要事前エントリー

展覧会のお知らせ 演奏会のお知らせ

試験選択 個人情報登録 登録内容確認 入学検定料 支払方法選択 登録完了

試験選択

以下の内容を入力して、「次へ」ボタンをクリックして下さい。
[必須]欄については、必ず入力してください。

入試ガイドサイトに戻る 次へ

試験選択

試験種別 [必須]	☐ 美術工芸学部研究生出願(外国人留学生) ☐ 音楽学部研究生出願(外国人留学生) ☒ 美術工芸学部科目等履修生出願(外国人留学生) ☐ 音楽学部科目等履修生出願(外国人留学生)
入試区分 [必須]	①前期
第1志望学部・学科 [必須]	美術工芸学部 美術学科 絵画専攻

入学審査料 9,800円

試験区分を選択

沖縄県立芸術大学 インターネット出願

手順3解説図 1 of 8 images

大学院造形芸術研究科(修士課程)

一般選抜

9月日程

オンライン出願画面へ

手順については「オンライン出願の手順」ページをご確認ください。

- 募集要項 (570 KB)
- 研究計画書 (15 KB)
- 【出願書類送付用】封筒 (64 KB)

2月日程

オンライン出願画面へ

手順については「オンライン出願の手順」ページをご確認ください。

準備中

社会人選抜(比較芸術学専攻のみ)

オンライン出願画面へ

手順については「オンライン出願の手順」ページをご確認ください。

■オンライン出願について

戻る 次へ

志願者情報

パスワード
【必須】 ※半角英数字9～16文字で入力してください。

氏名（漢字）
【必須】 ※全角で入力してください。 ※315画一・画二画までで入力してください。

氏名（カナ）
【必須】 ※全角で入力してください。

性別
○男 ○女

生年月日
【必須】 例) 2003/04/02

郵便番号
【必須】 ※全角で入力してください。 ※50文字以内で入力してください。

自宅電話番号
【必須】 例) 090-882-5058 ※半角数字で入力してください。

携帯電話番号
【必須】 例) 090-1234-5678 ※半角数字で入力してください。

メールアドレス
【必須】 ※パソコン用メールアドレスを入力してください。メールの受信を制限されている方はtccbunkyo@toukei.co.jpからのメールを許可する設定をしてください。
※半角英数字（ピリオド、ハイフン、アンダースコア）で入力してください。 ※60文字以内で入力してください。
【必須】 メール送信テスト

氏名・連絡先等、必要事項を入力

2022 沖縄県立芸術大学 インターネット出願

沖縄県立芸術大学 出願専用ページ
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

オキゲイ タロウさんのマイページ

入学料を支払い、一定時間後
入学志願票・宛名ラベルを出力する

志願者情報

氏名
メールアドレス
生年月日

出願履歴

インターネット出願番号 出願日	出願試験	支払状況 お支払済状況	表示・印刷	受験票 発行
1086307487 2021/11/20	美術工芸学部科目等修習生出願（外国人留学生）前期 美術工芸学部 美術学科 絵画専攻	お支払済み 2021/11/20 13:29:50 未着	志願票・宛名ラベル	受験票

宛名ラベルを貼り付けた封筒に入学志願票及び必要書類を封入し、速達・書留にて郵送

支払方法確認

支払方法を下記よりお選びください。

入学検定料 10,000円

支払先を下記より選び、「支払先確定」ボタンをクリックしてください。
※別途手数料が必要となります。

ごちよりお選びください

支払先確定

※支払先を確定すると「出願登録案内メール」が送信されます。

コンビニ・ペイジーでのお支払い

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
ローソン (Loppi)
ミニストップ (MINISTOP Loppi)
ファミリマート (Famiポート)
セイコーマート
金沢信託ATM [Pay-easy]

クレジットカードでのお支払い

※お支払いいただいた入学検定料は返金できません。
※お支払回数数は1回のみです。
※「セキュリティコード」はカードの裏面（一部のカードは表裏）に記載されています。
※一部、「セキュリティコード」が印字されていないカードがございます。
印字がない場合は、カード会社までお問い合わせください。

2022 沖縄県立芸術大学 インターネット出願

沖縄県立芸術大学 出願専用ページ
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

ア アさんのマイページ

本学での申請受付が完了すると、【到着済】と表示される。その後受験票出力可能

志願者情報

氏名
メールアドレス
生年月日

出願履歴

インターネット出願番号 出願日	出願試験	支払状況 お支払済状況	表示・印刷	受験票 発行
9416630485 2021/10/26	学校推薦型選抜 音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻 琉球古典音楽コース 歌三線	お支払済み 2021/10/26 09:47:48 到着済	志願票・宛名ラベル	受験票

2. 開設科目について

生活造形専攻

【工芸専修】

履修区分	研究室	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	最低履修単位
必修科目	染	染研究Ⅰ 染研究Ⅱ 論文演習	★ ★	12 12 2	1 2 1	30単位以上
	織	織研究Ⅰ 織研究Ⅱ 論文演習	★ ★	12 12 2	1 2 1	
	陶磁器	陶磁器研究Ⅰ 陶磁器研究Ⅱ 論文演習	★ ★	12 12 2	1 2 1	
	漆工	漆工研究Ⅰ 漆工研究Ⅱ 論文演習	★ ★	12 12 2	1 2 1	
選択科目		関連科目から		4	1～2	

生活造形専攻

【デザイン専修】

履修区分	研究室	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	最低履修単位
必修科目	視覚伝達デザイン	視覚伝達デザイン研究ⅠA	★	6	1	30単位以上
		視覚伝達デザイン研究ⅠB	★	6	1	
		視覚伝達デザイン研究ⅡA	★	6	2	
		視覚伝達デザイン研究ⅡB	★	6	2	
		論文演習		2	1	
	生活環境デザイン	生活環境デザイン研究ⅠA	★	6	1	
		生活環境デザイン研究ⅠB	★	6	1	
		生活環境デザイン研究ⅡA	★	6	2	
		生活環境デザイン研究ⅡB	★	6	2	
		論文演習		2	1	
選択科目		関連科目から		4	1～2	

環境造形専攻

【絵画専修】

履修区分	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	最低履修単位
必修科目	絵画研究Ⅰ	★	12	1	30単位以上
	絵画研究Ⅱ	★	12	2	
	論文演習		2	1	
選択科目	関連科目から		4	1～2	

【彫刻専修】

履修区分	授業科目	別表第3関係	単位	履修年次	最低履修単位
必修科目	彫刻研究Ⅰ	★	12	1	30単位以上
	彫刻研究Ⅱ	★	12	2	
	論文演習		2	1	
選択科目	関連科目から		4	1～2	

関連科目(生活造形専攻・環境造形専攻)

履修 区分	授 業 科 目	別表第 3関係	単 位	履修 年次	備 考
選択科目	(芸)比較美学研究A	☆△	2	1～2	
	(芸)比較美学研究B	☆△	2	1～2	
	(芸)比較芸術学特殊研究A		2	1～2	
	(芸)比較芸術学特殊研究B		2	1～2	
	(芸)日本芸術批評史研究A	☆△	2	1～2	
	(芸)日本芸術批評史研究B	☆△	2	1～2	
	(芸)東洋芸術批評史研究A	☆△	2	1～2	
	(芸)東洋芸術批評史研究B	☆△	2	1～2	
	(芸)西洋芸術批評史研究A	☆△	2	1～2	
	(芸)西洋芸術批評史研究B	☆△	2	1～2	
	(比)民族工芸論研究		4	1～2	
	(芸)民族芸術文化学研究A		2	1～2	
	(芸)民族芸術文化学研究B		2	1～2	
	(芸)日本芸術文化学研究A		2	1～2	
	(芸)日本芸術文化学研究B		2	1～2	
	(芸)東洋芸術文化学研究A	■	2	1～2	
	(芸)東洋芸術文化学研究B	■	2	1～2	
	(芸)民族芸術学持論	■	2	1～2	
	(芸)琉球歌謡論研究A		2	1～2	
	(芸)琉球歌謡論研究B		2	1～2	
	(芸)比較工芸史研究	■	2	1～2	

関連科目(生活造形専攻・環境造形専攻)

続き

履修 区分	授 業 科 目	別表第 3関係	単 位	履修 年次	備 考
選択 科目	(芸)琉球史持論		2	1～2	
	(デ)装飾様式論	■	2	1～2	
	(デ)生活環境デザイン論	■	2	1～2	
	(デ)産業デザイン論	■	2	1～2	
	(デ)映像論	△■	2	1～2	
	(デ)舞台美術論	△■	2	1～2	
	(彫)環境芸術演習	△■	2	1～2	
	(芸)民族芸術文化史持論		2	1～2	
	(芸)比較民俗学研究A		2	1～2	
	(芸)比較民俗学研究B		2	1～2	
	(芸)東南アジア文化研究A		2	1～2	
	(芸)東南アジア文化研究B		2	1～2	
	(比)東洋工芸史研究		4	1～2	
	造形総合演習		2	2	

関連科目(生活造形専攻・環境造形専攻)

履修 区分	授 業 科 目	別表第 3関係	単 位	履修 年次	備 考
自由科目	(染)染課題演習	☆	2	1～2	(修了単位に算入されない。)
	(織)織課題演習	☆	2	1～2	
	(陶)陶磁器課題演習	☆	2	1～2	(注)1. 登録にあたっては事前に各担当研究室に相談すること。
	(漆)漆工課題演習	☆	2	1～2	(注)2. 提供専修(工芸専修は提供研究室)の学生は登録できない。ただし、教育・学術交流協定大学との単位交換の場合は可能。
	(デ)デザイン課題演習	☆△■	2	1～2	
	(絵)絵画課題演習	☆△	2	1～2	
	(彫)彫刻課題演習	☆	2	1～2	

(注) (芸)は比較芸術学専修提供科目

(彫)は彫刻専修提供科目

(染)は工芸専修染研究室提供科目

(陶)は工芸専修陶磁器研究室提供科目

(絵)は絵画専修提供科目

(デ)はデザイン専修提供科目

(比)は博士課程比較芸術学研究領域提供科目

(織)は工芸専修織研究室提供科目

(漆)は工芸専修漆工研究室提供科目

【比較芸術学専修】

比較芸術学専攻

履修 区分		授 業 科 目	別表第 3関係	単位	履修 年次	最低履修単位	
必修科目		課題研究Ⅰ		2	2	4	30単位 以 上
		課題研究Ⅱ		2	2		
選 択 科 目	選 択 Ⅰ 類	比較美学研究A	☆△	2	1～2	14	
		比較美学研究B	☆△	2	1～2		
		比較芸術学特殊研究A	☆△	2	1～2		
		比較芸術学特殊研究B	☆△	2	1～2		
		日本芸術批評史研究A	☆△	2	1～2		
		日本芸術批評史研究B	☆△	2	1～2		
		東洋芸術批評史研究A	☆△	2	1～2		
		東洋芸術批評史研究B	☆△	2	1～2		
		西洋芸術批評史研究A	☆△	2	1～2		
		西洋芸術批評史研究B	☆△	2	1～2		
		比較工芸史研究		2	1～2		
		民族芸術文化学研究A		2	1～2		
		民族芸術文化学研究B		2	1～2		
		日本芸術文化学研究A		2	1～2		
		日本芸術文化学研究B		2	1～2		
		東洋芸術文化学研究A		2	1～2		
		東洋芸術文化学研究B		2	1～2		
		民族芸術文化史特論		2	1～2		

比較芸術学専攻

【比較芸術学専修】 続き

履修 区分		授 業 科 目	別表第 3関係	単位	履修 年次	最低履修単位	
選択科目	選択Ⅱ類	芸術学特殊研究A		2	1～2	8	
		芸術学特殊研究B		2	1～2		
		比較美学特殊演習Ⅰ	☆△	4	1		
		比較美学特殊演習Ⅱ	☆△	4	2		
		比較芸術学特殊演習Ⅰ		4	1		
		比較芸術学特殊演習Ⅱ		4	2		
		日本美術史特殊演習Ⅰ	☆△	4	1		
		日本美術史特殊演習Ⅱ	☆△	4	2		
		東洋美術史特殊演習Ⅰ	☆△	4	1		
		東洋美術史特殊演習Ⅱ	☆△	4	2		
		西洋美術史特殊演習Ⅰ	☆△	4	1		
		西洋美術史特殊演習Ⅱ	☆△	4	2		
		民族芸術文化学特殊演習Ⅰ		4	1		
		民族芸術文化学特殊演習Ⅱ		4	2		
		日本芸術文化学特殊演習Ⅰ		4	1		
		日本芸術文化学特殊演習Ⅱ		4	2		
		東洋芸術文化学特殊演習Ⅰ		4	1		
		東洋芸術文化学特殊演習Ⅱ		4	2		
	選択Ⅲ類	関連科目から		2	1～2	4	

比較芸術学専攻

関連科目(比較芸術学専攻)

履修 区分	授 業 科 目	別表第 3関係	単位	履修 年次	備 考
選択科目	選択Ⅲ類	民族芸術学特論	2	1～2	
		琉球歌謡論研究A	2	1～2	
		琉球歌謡論研究B	2	1～2	
		比較民族学研究A	2	1～2	
		比較民族学研究B	2	1～2	
		東南アジア文化研究A	2	1～2	
		東南アジア文化研究B	2	1～2	
		琉球史持論	2	1～2	
		(比)民族工芸論研究	4	1～2	
		(音)民族舞踊学研究	4	1～2	
		(音)民族音楽学研究	4	1～2	
		(音)琉球音楽論研究	4	1～2	
		(比)東洋工芸史研究	4	1～2	
		(デ)装飾様式論	2	1～2	
		(デ)生活環境デザイン論	2	1～2	
		(デ)産業デザイン論	2	1～2	
		(デ)映像論	2	1～2	
		(デ)舞台美術論	2	1～2	
		(彫)環境芸術演習	2	1～2	
		(染)染課題演習	2	1～2	

比較芸術学専攻

関連科目(比較芸術学専攻) 続き

履修区分		授 業 科 目	別表第3関係	単位	履修年次	備 考
選択科目	選択Ⅲ類	(織)織課題演習		2	1～2	(注)各課題演習の登録にあたっては事前に担当研究室に相談すること。
		(陶)陶磁器課題演習		2	1～2	
		(漆)漆工課題演習		2	1～2	
		(デ)デザイン課題演習	☆△	2	1～2	
		(絵)絵画課題演習	☆△	2	1～2	
		(彫)彫刻課題演習	☆△	2	1～2	

(注) (比)は博士課程比較芸術学研究領域提供科目 (音)は音楽芸術研究科提供科目
 (デ)はデザイン専修提供科目 (彫)は彫刻専修提供科目
 (染)は工芸専修染研究室提供科目 (織)は工芸専修織研究室提供科目
 (陶)は工芸専修陶磁器研究室提供科目 (漆)は工芸専修漆工研究室提供科目
 (絵)は絵画専修提供科目

教職課程表

専修免許状	授業科目 (別表第2に表示)	必要 単位数	生活造形専攻		環境造形 専攻	比較芸術学 専攻
			工芸 専修	デザイン 専修	絵画・彫刻 専修	比較芸術学 専修
中学校教諭専修免許状 (美術)	各専修教職必修科目(★)	24	24	24	24	—
	各専修教職選択科目(☆)		22	20	28	58
高等学校教諭専修免許状 (美術)	各専修教職必修科目(★)	24	—	24	24	—
	各専修教職選択科目(△)		—	26	26	58
高等学校教諭専修免許状 (工芸)	各専修教職必修科目(★)	24	24	—	—	—
	各専修教職選択科目(■)		22	—	—	—

(注)生活造形専攻及び環境造形専攻においては、教職選択科目も履修することが望ましい。(第9条参照)

■集中講義について

前学期と後学期に専門関連科目の集中講義が行われます。

一つの科目は3日間程ですが、著名な先生も多く深い教養を身につけることができます。

◇令和7年度前学期集中講義

期間: 令和7年9月8日(月)～9月25日(木)

◇令和7年度後学期集中講義

期間: ①令和7年12月24日(水)～12月28日(日)

②令和8年2月6日(金)～2月22日(日)

3. 修了要件について

以下の4つの要件すべてを満たすこと

- 修士課程に2年以上在学
- 30単位以上修得
- 必要な指導を受け、修士作品又は修士論文の審査に合格
- 最終試験に合格

※最終試験は、修士作品・修士論文の審査終了後に、口述又は筆記により行う。
(専修によりポートフォリオ・レポート等の提出を求める。)

「修士作品」・・・修士課程を通した研究の成果物であるため、審査基準は
「(各専門)研究Ⅱ」の基準に準ずる。

「修士論文」・・・研究テーマの学術的意義、内容の独創性、実証性、理論性、妥当性
または関連分野に貢献できること等を審査基準とする。

専攻／専修				最終試験の審査基準※
生活造形専攻	工芸専修	染研究室	修士作品	「(各専門)研究Ⅱ」の基準に準じ、修士作品・修士論文を中心として、その関連する理解度を審査基準とする。
		織研究室	修士作品又は修士論文	
		陶磁器研究室	修士作品	
		漆工研究室		
	デザイン専修		修士作品又は修士論文	
環境造形専攻	絵画専修		修士作品	
	彫刻専修			
比較芸術学専攻	比較芸術学専修		修士論文	修士論文を中心として、その関連する分野への理解度、回答が適切で明解であること等を審査基準とする。

4. 長期履修学生制度について

○長期履修学生制度とは

大学院において、職業を有している等の事情により、2年間の修業年限では履修が困難な学生に対して、当該修業年限を超えて履修することができるよう履修期間を延長する制度

○対象者

- ①フルタイム、パートアルバイト含む有職者（官公庁・企業・自営業等）
- ②育児、介護を行う者
- ③その他やむを得ない事情を有し、修業年限での修了が困難な者

※①②のいずれも修学に支障を及ぼさない範囲の者は除外

○修業年限・在学期間

修業年限は3年、在学年限は4年です。

○授業料

履修期間3年の場合

(1年目)	(2年目)	(3年目)
357,200円	357,200円	357,200円

総額は、授業料年額535,800円×修業年限2年＝1,071,600円と同じ。

5. 修了後の進路について

大学院造形芸術研究科

修了後の進路状況(過去5年間)

生活造形専攻 定員9名(工芸専修・デザイン専修)
環境造形専攻 定員6名(絵画専修・彫刻専修)
比較芸術学専攻 定員3名(比較芸術学専修)

	R2	R3	R4	R5	R6
就職	8	9	12	4	9
進学	1	2	3	1	4
未定(その他)	2	4	9	22	8
合計	11	15	24	27	21

■工芸専修

- ・就職先は工房が多く、非常勤講師として大学で活躍する方も多い。
- ・漆工研究室の修了生は首里城復興事業で活躍している方が多い。
- ・その他、次のようなケースがある。
 - ①非常勤講師をしながら研究職の道に進む
 - ②工房に勤務して独立に向けて準備
 - ③アルバイトと制作を掛け持ちして作家活動始める
 - ④学部で教員免許を取得した場合は、専修免許をとって教員採用試験に受かるまで臨時教員をする。

■デザイン専修

- ・多くの修了生は、デザイン関連の企業に就職しており、それぞれの専門性を活かしてプロフェッショナルとして活躍している。また、一部の学生は在学中から実績を積み、修了後はフリーランスとして独立し、個人でクライアントワークやクリエイティブな活動を展開している。
- ・意欲的な学生の中には、全国的に知られた有名企業や業界を代表する大手企業への就職にチャレンジし、見事内定を勝ち取るケースも少なくない。実力と熱意をもって挑戦し、厳しい選考を突破して夢を実現している修了生も多くいる。

■絵画専修

- ・美術家として作家活動する方が多い。その他、デザイナーやフリーランスの漫画家や絵本作家になる方もいる。
- ・博士課程進学する方、進学のため研究生になる方も増えている。
- ・美術関係の公立の文化施設を中心に非正規の教職員や事務職員になる方もいる。

■彫刻専修

- ・彫刻家など美術関連の作家として活動するほか、本学や他大学での教職員、高校・中学校の教員、造形関連の仕事、事務職、アパレルなどの一般企業に就職する方もいる。
- ・首里城復興事業にも関わる方も多い。

■比較芸術学専修

- ・美術館・博物館等の文化施設における専門職、研究者、フリーランスの文筆業者、その他、公務員(国家・地方)や博士課程進学(学内・学外)等がある。

6. 学費、奨学金制度等について

■学費について

○授業料 年額： 535,800円

○入学料

県内居住者： 282,000円

その他の者： 512,000円

※ この場合の県内居住者とは、受験する年度の4月1日以前に県内に住所を有し、居住する市町村の住民基本台帳に登録されている者をいう。

このため、沖縄県内に4月1日以前の住民登録がなされている住民票抄本の提出は必須となる。

○入学考査料 30,000円

■奨学金について

- 経済的理由により修学に困難がある者かつ優秀な学生に対し、学資として貸与等がされるものです。
 - 1 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金(貸与)
 - 2 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金(貸与)
 - 3 沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金(給付)
 - 4 市町村及び各種団体奨学金

■ 1 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金(貸与)①

貸与額や貸与条件については、日本学生支援機構HPを参照して下さい。

(1) 第一種奨学金

※無利子

(2) 第二種奨学金

(3) 入学時特別増額貸与

注): 一年次のみ。初回振込時又は支援機構の定める月に受けることができます。

注): 入学時特別増額貸与のみ受けることはできません。所定の要件を満たす必要があります。

■ 1 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金(貸与)②

○採用申込み(予約)

- ・ 令和8年4月に本学修士課程に進学を希望する者で、奨学金を希望する者は日本学生支援機構奨学金の予約採用申込が可能です。
- * 入学が内定していなくても応募可能です。
- * 予約採用にもれた場合でも、入学後の定期採用に申し込むことは可能です。
- * 募集要項配布: 9月(予定)

○特に優れた業績による返還免除について

- ・ 大学院の第一種奨学金貸与の学生が対象
- ・ 在学中に「特に優れた業績をあげたもの」に対して、返還を免除する制度です。学内選考委員会において、申請された業績や成績などを総合的に評価して選考を行い、支援機構から示された推薦枠の範囲内で返還免除候補者として支援機構に推薦します。
さらに、支援機構で審査が行われ、認められた場合に奨学金の全額又は一部が免除されます。
- * 募集要項配布: 12月頃(予定)

■2 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金(貸与)

※無利子貸与

- ・ **沖縄県に住所を有する者**の子弟で、学業、人物ともに優秀でかつ健康である者。
- ・ **他から奨学金の貸与を受けていないもの。**

■3 沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金(給付)

沖縄県立芸術大学に在学する学生対象。例年6月に募集。

- ・ 他から奨学金の貸与又は給付を受けていないもの。ただし、留学生はこの限りではない

■4 市町村及び各種団体奨学金

各市町村育英会、または育英法人等からの募集については、学生支援システム(UNIPA) 及びキャンパスの掲示板にて随時案内しています。

7. 教職課程について

○教職課程とは

教職課程は、教育職員(教員)免許状を取得するために設けられた課程です。造形芸術研究科においては学部における一種免許状取得を前提として、上級の免許状である中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状を取得することができます。

○専修免許状については、事前に以下の内容が**必須**となります。

- ①修士の学位を有すること。又は大学院に1年以上在学し、30単位以上を修得すること。
- ②学部で美術(中学校・高等学校)、工芸(高等学校)一種免許状を取得済みであること。

※学部で美術・工芸の一種免許状を未取得の学生は、学部開設の「教職に関する科目の中から原則として7単位に限り履修することができる。ただし、研究科長が研究科委員会の議を経て認めた場合は、7単位を超えて履修することができる。

○一種免許状と専修免許状の違いとは

給与面や役職面で違いがあります。このため就職する際に有利な点があるといえます。

■大学院において取得できる免許状の種類及び教科

研究科	専攻	種類	教科
造形芸術研究科	生活造形専攻	中学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	美術(デザイン専修に限る)
		高等学校教諭専修免許状	工芸(工芸専修に限る)
	環境造形専攻	中学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	美術
	比較芸術学専攻	中学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	美術

8. 博物館学課程について（予定）

- オリエンテーションについて

4月：博物館学課程におけるオリエンテーション

10月：博物館実習のオリエンテーション

1月：博物館実習の申し込み

翌年4月：博物館実習前のオリエンテーション

6月：博物館実習事前指導

博物館実習へ

※博物館学課程は免許状の発行ではなく取得単位の「学芸員資格取得証明書」の発行を行います。

■ 博物館学課程の授業科目

科目	区分	授業科目名	履修単位	合計単位
指定教育科目	必修科目	生涯学習概論	2	19
		博物館概論	2	
		博物館経営論	2	
		博物館資料論	2	
		博物館資料保存論	2	
		博物館展示論	2	
		博物館情報・メディア論	2	
		博物館教育論	2	
		博物館実習	3	

科目	区分	授業科目名	履修 単位	履修単位	合計単位
関連教育科目	必修科目	日本美術史	2	8	16
		東洋美術史	2		
		西洋美術史A	2		
		西洋美術史B	2		
	選択科目	美学	2	8単位を選択	
		現代芸術概論	2		
		沖縄美術工芸史	2		
		一般芸術学	2		
		絵画史	2		
		彫刻史	2		
		デザイン史	2		
		工芸史	2		
		現代芸術論A	2		
		現代芸術論B	2		
		西洋建築史	2		
		日本建築史	2		
		陶磁史	2		
		染織工芸史	2		
		漆芸論	2		